

# 第 165 回 第一次世界大戦後の東アジア

## 1 中国の新文化運動

- ・中国では、1912年に（ ）が成立していたが、政治は安定しなかった。  
→1912年には（ ）が退位し、清が滅亡した。
- ・知識人たちは、（ ）などを中心に（ ）を展開し、民衆を啓蒙することで中国社会を、改革していこうと試みた。

- （ ）…雑誌『 』を創刊して、「民主と科学」をスローガンに儒教的な価値観を批判する（ ）を展開した。
- （ ）…昔ながらの難解な文学を批判し、やさしい話し言葉で文学を表現する（ ）をとらえた。
- （ ）…マルクス主義を中国に紹介した。
- （ ）…日本への留学から帰国後、『 』や『 』などの小説を発表し、中国社会の心理的な暗部を描きだした。



胡適

白話とは口語のことである。当時の中国では、話し言葉と書き言葉がかけ離れていた。後にアメリカに亡命した。



李大釗

日本の早稲田大学にも留学経験があり、マルクス主義も日本を経由して流入した。中国共産党の創立者のひとりだが、後に張作霖によって処刑された。



魯迅

魯迅は医学を目指して日本の仙台医専(現東北大学医学部)に留学していたが、日本での経験を通じて文学に転じた。『故郷』は日本で中学校の教科書に載っていることも多い。

## 2 第一次世界大戦と東アジア

- ・日本は1910年の（ ）後、（ ）を置いて統治した。
- ・土地調査事業で土地没収を行うなど、（ ）によって反発をまねいた。

- ・第一次世界大戦後の1919年、（ ）が起こった。  
→中国の上海で、李承晩により大韓民国臨時政府が結成された。  
→日本の統治政策は、（ ）という懐柔策に転換されたが反発は続いた。
- ・第一次世界大戦によって日本は好景気となり、繊維業や重化学工業が発展した。  
→市場の確保が求められるとともに、労働者が増えて社会運動も盛んとなった。
- ・大正デモクラシーという民主主義の風潮が高まると、1918年の（ ）を受けて、同年には原敬による（ ）も成立した。
- ・1925年、（ ）が成立した。  
→しかし同時に（ ）も制定され、言論や思想弾圧も行われた。



朝鮮総督府

初代朝鮮総督は寺内正毅。総督府は朝鮮王朝時代の王宮の真ん中に建てられていた。1999年に取り壊されてしまった。



三・一独立運動

朝鮮の民衆が、「独立万歳！」を叫んでデモを行った。参加者は最終的にのべ200万人を超え、数ヶ月にわたってデモが続いた。



袁世凱

袁世凱は、清朝を滅亡させた人物である。最後は皇帝になろうとしたが猛反発を招き、失意のまま病死した。

- ・第一次世界大戦が始まると、日本は中国におけるドイツの拠点を占領した。  
→1915年、( )を袁世凱政権につけ、これを承認させた。
- ・1919年に開かれたパリ講和会議で、中国の段祺瑞政権は二十一カ条の要求の廃棄を求めたが拒否された。  
→中国の民衆は激怒し、( )という運動が起こった。  
→中国政府は、ヴェルサイユ条約の調印を拒否した。



段祺瑞

段祺瑞は、安徽派の軍閥である。袁世凱の死後に北京で実権をにぎったが、馮国璋や呉佩孚などの直隸派と争い、最後は敗れて引退した。



五・四運動

北京大学の学生3000人が、軍閥打倒や反帝国主義を唱えて、デモを起こしたことによって始まった。中国共産党は、これを中国現代史の出発点として評価している。



チヨイバルサン

ロシア革命の影響を受けてモンゴル人民革命党を結成したチヨイバルサンは、中国が混乱するなかで1924年にモンゴル人民共和国を建国した。

### 3 中国国民党と中国共産党

- ・一方でソヴィエト政権は、1919年に( )を出して、中国におけるロシア時代に獲得した権益を放棄し、中国国民に歓迎された。  
→1921年、コミンテルンの指導のもとで、上海において( )などを中心に( )が結成された。

- ・また( )をかかげていた( )は、1919年、中華革命党を改組して( )を組織した。  
→1924年、中国国民党一大大会で「( )・( )・( )」の方針を決定し、反帝国主義・軍閥打倒・共産党との協力を打ち出した。  
※これを( )という。  
→しかし1925年3月、孫文は病死した。

- ・1925年5月、上海における日本の紡績工場での中国人労働者のストライキとデモが発生し、( )に発展した。



陳独秀

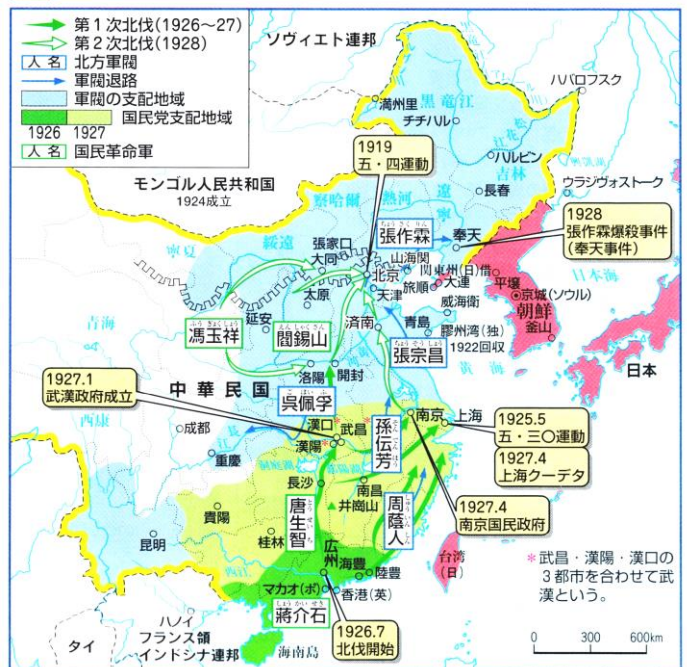
雑誌『新青年』を創刊したことで知られ、文学革命の中心の人物であった。胡適、李大釗とともに、北京大学教授である。



孫文

中国革命の父として、中国と台湾の両方で尊敬されている数少ない人物である。中国では孫中山という名称が一般的である。

### 3 五・四運動と第1次国共合作(1919~28)



### 2 共産党と国民党の対立

